

【別添 2】

(様式 1)

整理番号

**平成 19 年度
がんプロフェッショナル養成プラン
申請書 (様式)**

大学名	大学
設置者名	学校法人
申請区分	共同申請
プログラムの名称 (20字以内)	
実施期間	年間(平成19年度～平成 年度)

< プログラムの実施体制 > 【観点 1】

大学名	研究科等名	専攻名	コース名
大学	研究科	専攻	医師
大学	研究科	専攻	コメディカル
大学	研究科	専攻	インテンシブ

< 連絡先 >

申請担当大学の 事業推進責任者 連絡先	職名・氏名 ^{ふりがな}	
	TEL	
	FAX	
	E-mail	
申請担当大学の 事務担当者 連絡先	職名・氏名 ^{ふりがな}	
	TEL	
	FAX	
	E-mail	

1. プラン全体の概要・特色【観点1】(400字以内)

2. 組織体制の概要

(1) 各コース共通の管理体制等【観点1、2(1)】(400字以内)

(2) コーディネータの職名・氏名、プランにおける役割【観点2(3)】
(職名・氏名)

(役割)(200字以内)

3. 養成計画（履修方法）【観点1】

（コースごとに記入してください。）（1コースにつき200字以内）

4. 共同申請の場合の大学ごとの役割分担【観点1】（200字以内）

（単独申請の場合は記入不要）

5. コースごとの概要

(1) がん医療に携わる専門医師養成コース

(ア) コースの概要						
大学名	大学					
研究科等名	研究科					
専攻名	専攻					
コース名	コース					
養成(受入)人数 (単年度) 【観点1】	人					
養成する専門分野	放射線療法(or化学療法or緩和ケアorその他)					
修業年限	年					
授与する学位	博士(学)					
修了要件及び履修方法 (5行以内)	(例) 必修科目 単位、選択科目 単位以上、合計 単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、本大学院が行う博士論文の審査及び最終試験に合格すること。					
受入開始時期	平成 年 月					
研究科等の所在地	〒					
(イ) 教育課程の概要【観点3(2)】【観点3(3)】						
科目区分	授業科目の名称/ 担当教員職・氏名	授業科目の概要 (5行以内で記載)	単位数	配当年次	必修・選択の種別	授業形態
科目	概論 大学大学院 研究科教授	2	1	必修	講義
科目						
(ウ) 取得が見込まれる各学会認定資格等の概要【観点3(3)】						
学会等名	学会					
学会との連携等の						

概要 (200 字以内)	
資格名	がん専門 師
資格要件	指定研修施設において3年以上の修練 学会発表2件以上 論文発表1件以上 学会認定のセミナー参加 10単位以上 ・・・
上記資格取得のためのプロセスのモデル	
大学院入 学前に行 うこと	なし
大学院在 学中に行 うこと	指定研修施設において2年以上の修練 学会認定のセミナー参加 10単位以上 ・・・
大学院修 了後に行 うこと	学会発表2件以上 論文発表1件以上 指定研修施設において1年以上の修練 ・・・

(2) がん医療に携わるコメディカル養成コース

(ア) コースの概要	
大学名	大学
研究科等名	研究科
専攻名	専攻
コース名	コース
養成(受入)人数 (単年度) 【観点1】	人
養成する専門分野	がん専門 師
修業年限	年
授与する学位	博士(学)
修了要件及び履修 方法 (5行以内)	(例) 必修科目 単位、選択科目 単位以上、合計 単位以上を 修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、本大学院が行う博士 論文の審査及び最終試験に合格すること。
受入開始時期	平成 年 月
研究科等の所在地	〒
(イ) 教育課程の概要【観点3(2)】【観点3(3)】	

科目区分	授業科目の名称 / 担当教員職・氏名	授業科目の概要 (5行以内で記載)	単位数	配当年次	必修・選択の種別	授業形態
科目	概論 大学大学院 研究科教授	2	1	必修	講義
科目						
(ウ) 取得が見込まれる各学会認定資格等の概要【観点3(3)】						
学会等名	学会					
学会との連携等の概要 (200字以内)						
資格名	がん専門 師					
資格要件	指定研修施設において3年以上の修練 学会発表2件以上 論文発表1件以上 学会認定のセミナー参加 10単位以上					
上記資格取得のためのプロセスのモデル						
大学院入学前に行うこと	なし					
大学院在学中に行うこと	指定研修施設において2年以上の修練 学会認定のセミナー参加 10単位以上					
大学院修了後に行うこと	学会発表2件以上 論文発表1件以上 指定研修施設において1年以上の修練					

(3) がん医療に携わる専門医師等の研修(インテンシブ)コース

(ア) コースの概要	
大学名	大学
研究科等名	研究科
専攻名	専攻
コース名	コース
受入人数(単年度) 【観点1】	人
対象者の募集方法	
研修の専門分野	がんに関する放射線療法、化学療法、緩和ケアなど
期間(合計時間)	ヶ月(合計 時間)
コースの修了要件 及び履修方法 (5行以内)	
受入開始時期	平成 年 月
研究科等の所在地	〒
(イ) 研修内容の概要【観点1】(400字以内)	

6. 連携する医療機関（大学病院、医療機関等）の概要
 （医療機関ごとに作成してください。）

医療機関名 【観点4(3)】	病院（がん拠点病院）	
承認病床数	床	
がん治療に特化した診療科名	腫瘍内科、放射線腫瘍科	
がん治療のための組織名（診療科以外）	がん治療センター、外来化学療法センター	
放射線治療装置等、教育・実習のための機器の整備状況 【観点2(2)】	リニアック（台）、ガンマナイフ（台）・・・	
各学会認定資格等の指定研修施設等の認定状況	がん治療認定医研修施設（平成 年 月認定）、 がん専門 師研修施設（平成 年 月認定予定）	
がんに関する診療実績 （県内占有率(%)） （年度(直近のもの)） 【観点4(2)】	胃	症例（県内 %）（平成 年度～平成 年度）
	肺	症例（県内 %）（平成 年度～平成 年度）
	乳	症例（県内 %）（平成 年度～平成 年度）
	子宮	症例（県内 %）（平成 年度～平成 年度）
	大腸	症例（県内 %）（平成 年度～平成 年度）
	白血病	症例（県内 %）（平成 年度～平成 年度）
	肝胆膵	症例（県内 %）（平成 年度～平成 年度）
	その他	症例（県内 %）（平成 年度～平成 年度）
指導者の職・氏名 【観点3(2)】	科教授 学外の医療機関の場合 科部長（臨床教授）	
医療機関の現住所	県 市	

7. 各観点ごとの取組や計画

以下の観点に関する取組や計画があれば、各観点ごとに5行以内で記入してください。
取組や計画がない場合は「なし」と記入してください。

(1) 共通

【観点1】

大学院医学研究科等において、大学病院等と連携することにより、高い臨床能力と研究能力を併せ持ったがん専門の臨床医等を養成するものであるか。

【観点2(1)】

研究科長直属の組織が母体となるなど責任ある体制となっているか。

プログラム終了後におけるプログラムの実施を踏まえた展開が可能な内容であり、大学において継続する意図が示されているか。

組織として教育プログラムを適切に評価する体制の整備がなされ、評価結果を教育活動の質の向上・改善に結びつけるシステムの整備がなされているか。

【観点2(2)】

内科、外科、放射線科等の関連臓器・診療科の横断的な参画が行われているか。

がんセンター等の横断的にがん治療などを行う教育研究・診療組織を設置しているなど、大学病院の实地修練・実習において放射線治療や化学療法なども含めた集学的医療を研修できるための体制の整備が図られている、又は具体的な計画があるか。

大学病院においてがん診療を専門に行うコメディカルも含めた医療チームを組織し、当該組織を教育プログラムに有効に活用しているか。

大学病院内において診断・治療を集学的に行うための体制（例：カンサーボード）を設けている、又は具体的な計画があるか。

【観点2(4)】

学生への必要な相談支援体制が設定されているか。

ファカルティ・ディベロップメント等教員の資質向上や能力開発の推進、外部専門家の活用等、教員の資質の確保に関する取組の体制が整備されているか。

運営に関する協議を行う場（各診療科、関係大学・医療機関、行政、医師会等職能団体等で構成）を設けているか。

【観点3(1)】

シラバスが整備されているか。

整備されている場合は、シラバスを本申請書とは別に、添付資料として1部のみ提出してください。

コースワーク等により、学修課題を体系的に履修することができるか。

がん治療に係るチーム医療のトレーニングとして、3コースの職種が共同で実地修練や合同カンファレンスに参加できるプログラムが設定されているか。

緩和ケアに関する専門的な教育内容とともに、地域の医療機関等と連携した実地修練・実習が盛り込まれたコースを有しているか。

知識教育のみならず、抗癌剤の使用、放射線機器の使用、疼痛コントロール、がん患者の心理的・精神的ケア等実践的な診療研修場面を盛り込んでいるか。

コース修了者に関して、知識・技能等についての達成度の評価基準が明確に設定されているか。

【観点4(1)】

一県内に留まらず、一定の地域におけるがん専門医療人材の養成のため、広い地域から参加できるような取組・対応・工夫がなされているか。

【観点4(2)】

地域がん登録のデータが活用できる体制（データベースへのアクセスが可能な体制など）が整備されているか。

精度の高い院内がん登録が行われているか。

【観点4(3)】

がん診療連携拠点病院や全国がんセンター協議会加盟施設等との連携が図られているか。

当該大学が所在する地方自治体との連携・協力体制を確立し、地域におけるがん診療体制の充実への貢献が期待できるか。

地域の医師会等の職能団体との連携ができているか。

【観点5】

(直接の補助対象となる)大学院及び大学病院の取組のみならず、学部教育の取組・改善と接続性、整合性を確保しつつ、波及効果が十分に期待できるか(学部教育への波及性)。

なお、学部教育においても、放射線療法をはじめ、がんに関する教育の充実に取り組み、当該学部教育と大学院教育に連続性、継続性、一貫性が図られているか。

その成果が(がん専門医等の養成をはじめ)我が国の医師養成の質的向上の実現への効果として有効であるか。すなわち、他大学、地域等への波及効果が十分に期待できるか。(その大学のみならず我が国全体の医師養成への波及性)

患者の視点に立ったがん診療が実践できるための配慮がなされているか。

(2)がん医療に携わる専門医師養成コース

【観点2(2)】

日本放射線腫瘍学会認定医の認定施設、日本臨床腫瘍学会専門医の研修施設として、それぞれ認定を受けているなど人材養成の目的に応じた教育環境が整備されているか。

講座等の本プログラムを行う教育研究組織の編成にあたって、放射線「診断」とは別に放射線「治療」の組織を設けるなど、放射線治療の専門的な教育研究組織の整備に取り組んでいるか。

【観点3(1)】

外科療法、化学療法、放射線療法、緩和ケアのそれぞれについて、学生等の選択に関わらず、最低限の知識を習得できるか(共通カリキュラム)。

実地修練において、放射線療法、化学療法、緩和ケアの基本的知識及び技術の修得に向けてそれらをローテーションできる内容となっているか。

上記のほか、集学的治療の観点から、様々な診療科のローテーションが体系的・組織的に盛り込まれているか。

【観点3(2)】

放射線治療又は化学療法に特化した講座等人材養成の目的に応じた教育研究体制を有しているか。

【観点3(2)】

臨床研究の実施体制が整っているか。

【観点4(2)】

広い地域から、臨床研究のために必要な診療情報が入手できる体制が構築されているか。

(3) がん医療に携わるコメディカル養成コース

【観点2(2)】

がん専門薬剤師については日本病院薬剤師会の研修施設、がん専門の看護師の養成については日本看護系大学協議会の専門看護師教育課程として、それぞれ認定を受けているなど人材養成の目的に応じた教育環境が整備されているか。

8. 本年度の実施計画、内容、成果等(2ページ以内)

大学

月 . . . の実施により . . . し、 . . . の向上を図る。

月 . . . について調査を行い . . . 。

月 . . . を購入し、 . . . において使用し、 . . . する。

- ・
- ・
- ・

大学

月 . . .

. . .

9. 事業に係る経費

(1) 平成19年度の申請経費(2ページ以内)

(単位:千円)

補助事業額(a=b+c)		補助金申請額(b)	自己負担額(c)
,		***,***	**,***
経費区分	金額	積算内訳	
設備備品費	*,***	システム一式 *,*** 【関係】 サーバ1台 *,*** ネットワーク1台 *,*** 据付料 *,*** 製品名、単価、数量等を記入して下さい。	
旅費	*,***	国内旅費 *,***千円 会議(人×回)東京 月 *,*** 【関係】 外国旅費 *,***千円 海外調査(人)英国、独 月 *,*** 【関係】 分担金配分予定(大学) *,*** 国内旅費 *,*** 実地調査(人) *,*** 【関係】 セミナー講師旅費(回) *,*** 【関係】 <u>具体的用務内容、人数、日数、期日、目的地等を記入してください。</u>	
人件費	*,***	謝金 *,***千円 会議出席謝金(人×回) *,***千円 【関係】 雇用等経費 *,***千円 用事務補佐員 *,***千円×月 = *,***千円 (月~月: *,***円/1h) 【関係】 <u>業務内容、単価、期間、人数等を記入してください。</u>	
事業推進費	*,***	消耗品費(一式) *,***千円 会議用 *,***千円 【関係】 借料・損料 *,***千円 会議会場借料 *,***千円 【関係】 用コピー機借料	

		<p style="text-align: right;">*,***円 × 月 (月 ~ 月) = *,***千円【 関係】</p> <p>印刷製本費 *,***千円</p> <p>会議用資料 *,***千円【 関係】</p> <p>通信運搬費 *,***千円</p> <p>会議案内切手代 *,***千円【 関係】</p> <p>交通費 **千円</p> <p>会議交通費 *千円 【 関係】</p> <p><u>業務内容、単価、期間、人数等を記入してください。</u></p> <p>会議費は学外者が参加する会議（又は国際シンポジウム等に 係る経費）に限り計上することができます。補助事業を遂行す るにあたり、必要最小限の経費の計上に限られる点に留意して 下さい。</p> <p>例）弁当、水、お茶、コーヒー</p> <p><u>本プログラムにおいて、「その他」に該当する経費は認め られません。</u></p>
そ の 他	*,***	
合 計	***,***	

大学改革推進等補助金による補助事業として申請できる経費は、大学改革推進事業の遂行に必要な経費に限定されます。（「大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）取扱要領」参照）

（２）事業全体に係る申請予定額

（単位：千円）

年度		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
補助事業額		***,***	***,***	***,***	***,***	***,***
内 訳	補助金申請額	***,***	***,***	***,***	***,***	***,***
	自己負担額	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***

（３）同一又は類似のプログラム

（プログラム名）

（選定年度）

（取組名称）

（申請区分）

（取組の概要）（400字以内）

（今回の申請との関連性）（200字以内）